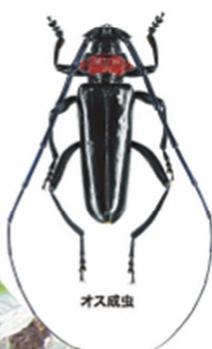


# お近くにこんな木はありませんか？



6~7月には木の外に出てきます



オス成虫



メス成虫



幼虫  
中にいるのはこれ

サクラ、モモ、ウメから写真のような木くずが出ていませんか？  
これは木を枯らしてしまう外来種が中にあるサインです。虫のフンと木くずが混ざったもので、フラスと言います。  
10年ほど前に初めて国内で見つかった外来種であるクビアカツヤカミキリが、本州、四国の各地でサクラやモモなどの木の幹を食い荒らしています。  
新しい場所にこの虫が入ってしまったら、増えてしまう前に見つけないと大変なことになります。力を合わせて身近な木を見守り、早期発見してひろがるのを防ぎましょう。

## もうひろげない！ クビアカツヤカミキリ

並木、公園、庭、農地でフラスや成虫を見かけたら、自治体の環境を扱う部署  
または緑地、農地を扱う部署にご一報ください。  
自治体の他、環境省地方環境事務所でも相談・報告を受けつけています。

**注意：クビアカツヤカミキリムシは特定外来種です。無許可で生きたまま持ち運ぶのは違法です。**



クビアカツヤカミキリコンソーシアム  
代表機関 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所

クビアカツヤカミキリの幼虫は、幹の表面から少し内側にある内樹皮の部分を食べ成長します。内樹皮は木の中で養分を運ぶ役割を担っているため、幼虫が食害するとそこから先の枝が枯れてしまいます(写真1)。

1本の木を多くの幼虫が加害すると、その後、**1年から数年で枯死**してしまうことがあります(写真2、3)。増えてしまう前に見つけないと**大変な**ことになります。



(写真1)木に潜んでいた幼虫



(写真2)左側の枝が枯れてしまった桜

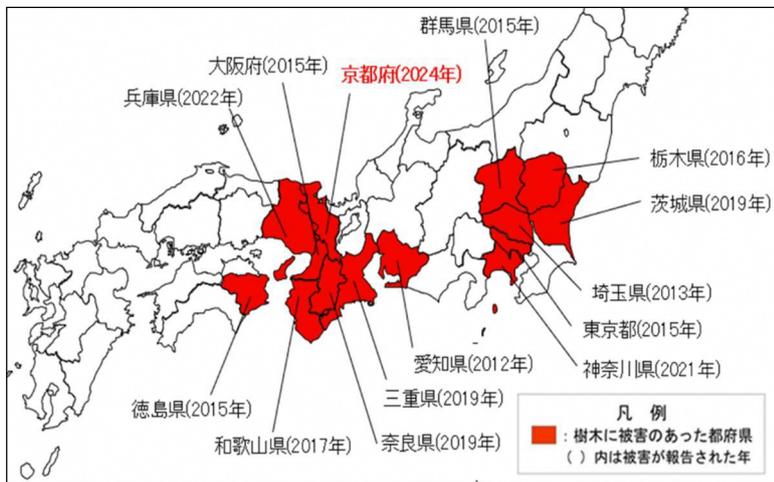


(写真3)枯死した桃の木

近畿では、大阪府で2015年に発見されてから奈良県、和歌山県そして兵庫県と広がり、**今年2024年7月に京都府**で見つかりました。滋賀県には、そう遠くない時期に飛来するのは確実です。

クビアカツヤカミキリムシは、『**特定外来生物**』に指定されているので、**生きたまま持ち運ぶのは違法**です。

捕殺して、以下の所にご一報ください。



**滋賀県にも、“そう遠くない時期に飛来”する可能性があります  
 発見されたら、捕殺して、ご一報してください!**

《連絡先》

環境省近畿地方環境事務所	06-6881-6505
滋賀県自然環境保全課生物多様性戦略推進室	077-528-3483

(備考)このパンフレットは、クビアカツヤカミキリコンソーシアム(代表機関国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究)のパンフレットを引用しております。

【発行】近江の松と緑を守る会(事務局長:信田繁治)、レイカディア大学園芸学科A(浅井加寿彦)